



mandom / Human & Freedom

LÚCIDO
LÚCIDO

KEEP YOURSELF CLEAN
Deodorant Scalp Shampoo

薬用シャンプー

mandom corp.

株主 通信

第97期
年間

2013年4月1日～
2014年3月31日まで



株式会社マダム

証券コード: 4917

基本理念
Our Mission

美と健康を通じ、快適な生活にお役立ちする
Aiming to Provide a Comfortable Lifestyle Supported by Health and Beauty

人は「美」に触れたとき、心に深い感動を覚え、満足感が広がっていきます。その、胸躍る感情と満ち足りた気持ちが心身に好影響を与え、健康へと結び付いていくという思いを、「美と健康を通じ」という言葉に込めました。

生活者の美意識を呼び起こすような価値あるモノをつくり、魅力ある商品・サービスとして、世界で一人でも多くの生活者に送り届けることが「快適な生活にお役立ちする」ことだと認識し、生活者満足の最大化を目指します。

経営理念
Our Values

企業理念の具現化を目指した企業行動を通じて、生活者や社員をはじめとするステークホルダーの満足を、同時にバランス良く満たすことができれば、企業は持続的に成長し、社会から認められて存在できると、わたしたちは信じています。

生活者発・生活者着

Creating Lifestyle Value With Consumers, For Consumers

「美」「健康」「清潔」「楽しさ」をビジネスキーワードに、生活者発の「ニーズ・ウォンツ」を魅力ある商品・サービスとして具現化し、生活者着の「価値」として世界で一人でも多くの生活者にお届けすることに全力を尽くします。

全員参画経営

Active Employee Participation

社名の意味に込められた、人間尊重と自由闊達な風土の中で豊かな創造性が発揮される人間集団を形成し、企業価値向上のために個人と組織の持続的成長を目指します。

社会との共存共栄

Social Responsibility and Sustainability

ステークホルダーとの双方向コミュニケーションに努め、ステークホルダーから要請される経済的責任、社会的責任を真摯に受け止め迅速に対応することで良好な信頼関係の維持、向上を図るとともに、「良き企業市民」として、社会との協調・融和に努め、その発展に貢献いたします。

株主の皆さまへ	02
業績の概況	03
事業推進の概況	05
財務データ	07
中期経営計画	08
株主還元の基本方針	09
株式の状況	09
会社概要	10

株主の皆さまへ



株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

第10次中期3ヵ年経営計画(MP-10)の最終年度にあたる第97期(2014年3月期)は、MP-10の戦略テーマである「コア事業である男性グルーミング事業の安定成長」「女性コスメティック事業の展開強化」「アジアを成長エンジンとした海外事業の継続強化」に取り組んだ結果、国内外ともに順調に推移したことに加え、海外業績の円安による円換算額のプラス影響も加わり、最高売上・最高利益を達成するとともに、期首に掲げた計画を上回ることができました。これにともない、MP-10で掲げた目標も達成することができました。MP-10は、「グループ事業の成長を加速させるための中期経営計画」と位置づけ、収益性の向上や安定的かつ高水準な株主還元の実施に配慮しつつ、「売上規模の拡大」に取り組んでまいりました。

第98期(2015年3月期)からスタートした第11次中期3ヵ年経営計画(MP-11)は、MP-10に引き続き「アジアでグローバルな経営を強みとするオンリーワン・カンパニー」を目指し、「アジアにおける成長加速と新規事業開拓の推進のための中期経営計画」と位置づけ、主力市場における事業展開強化による競争優位性の確立、新たな市場・事業分野の開拓により、MP-10を超える売上規模の拡大に向け、マンダムグループ一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

2014年6月

にしむら もとのぶ
代表取締役 社長執行役員 西村 元延

業績の概況

第97期(2014年3月期)業績の概況

増収増益で、過去最高売上・利益を達成

連結売上高	682億15百万円(前期比12.9%増)
連結営業利益	68億53百万円(同 15.2%増)
連結経常利益	73億30百万円(同 17.4%増)
連結当期純利益	40億91百万円(同 13.4%増)

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策を背景に全体の景況感が改善し、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、当社海外グループの事業エリアであるアジア経済も、世界経済の緩やかな回復の影響もあり、持ち直しの動きが見られ、全般的に堅調に推移いたしました。このような経済状況のもと、当社グループは持続的な成長の実現に向け、「コア事業である男性グルーミング事業の安定成長」「女性コスメティック事業の展開強化」「アジアを成長エンジンとした海外事業の継続強化」に取り組みました。

■ 連結売上高について

国内外ともに好調な推移に加え、円安の影響により増収

売上高は、前期より77億88百万円増加し、682億15百万円(前期比12.9%増)となり、4期連続で過去最高売上高を更新しました。国内での売上はコア・ブランド「ギャツビー」を中心として好調に推移し、海外での売上も総じて堅調に推移したことに加え、円安による円換算額の増加も相俟って増収となりました。

地域別売上高概況

日本

7.2%増 409億45百万円

コア・ブランド「ギャツビー」の堅調な推移に加え、「ルシード」におけるミドル男性に対応した新デオドラントシリーズの発売などにより7.2%の増収となりました。

インドネシア

18.2%増 159億68百万円

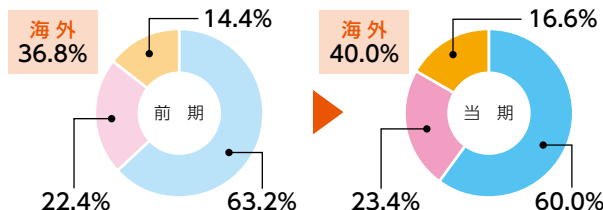
インドネシア国内における女性分野の堅調な推移と、円安による円換算額の増加により、18.2%の増収となりました。

海外その他

29.8%増 113億1百万円

コア・ブランド「ギャツビー」の堅調な推移と、円安による円換算額の増加により、29.8%増となりました。

■ 日本 ■ インドネシア ■ 海外その他



■ 連結利益について

積極的なマーケティング投資を行なったものの、増収効果により増益

利益面におきましては、国内外においてマーケティング費用（販売促進費・広告宣伝費）の積極的な投下があったものの増収効果等により、営業利益は、前期より9億6百万円増加し、68億53百万円（前期比15.2%増）、経常利益は、前期より10億88百万円増加し、73億30百万円（前期比17.4%増）、当期純利益は、前期より4億84百万円増加し、40億91百万円（前期比13.4%増）と各段階利益とも増加し、過去最高利益を更新しました。

地域別営業利益概況

日本

14.3%増 44億80百万円

マーケティング費用を積極的に投下したものの、増収効果により14.3%の増益となりました。

インドネシア

2.6%増 11億47百万円

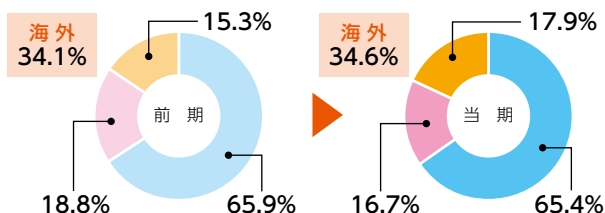
マーケティング費用の積極的な投下に加え、人件費などの一般管理費の増加があったものの、2.6%の増益となりました。

海外その他

34.9%増 12億25百万円

マーケティング費用を積極的に投下したものの、増収効果により、34.9%の増益となりました。

■ 日本 ■ インドネシア ■ 海外その他



第98期(2015年3月期)業績見通し

マーケティング投資を強化し、最高売上・最高利益を目指す

連結売上高	712億円	(前期比 4.4%増)
連結営業利益	71億20百万円	(同 3.9%増)
連結経常利益	74億20百万円	(同 1.2%増)
連結当期純利益	43億20百万円	(同 5.6%増)

次期におけるわが国経済は、政府による各種政策効果を背景に景気の回復基調の持続が期待されるものの、世界経済の下振れ懸念や消費税率引き上げにともなう駆け込み需要の反動の懸念など、先行き不透明な状況が続くものと見込まれます。一方、アジア経済も欧州の債務問題などによる影響のリスクを含みながらも、緩やかな拡大傾向で推移するものと見込まれます。

このような状況のもと、当社グループは、「グループの持続的成長」に向け、国内外グループ会社一体となり取り組んでまいります。

売上面においては、引き続き男性グルーミング事業の安定成長、女性コスメティック分野でのスキンケアを中心とした取り組み強化、アジアを中心とした海外事業の二桁成長の3つを柱に売上拡大に努めることにより、増収を目指してまいります。利益面においては、海外や女性分野への積極的なマーケティング費用の投下を行なっていくものの、継続して原価低減活動や一般管理費の効率化を推進することにより、各段階利益での増益を目指してまいります。

事業推進の概況

株主の皆さまへ

業績の概況

事業推進の概況

財務データ

中期経営計画

株主還元

株式の状況

会社概要

男性グルーミング事業

男性グルーミング事業は、コア事業として、男性化粧品市場におけるカテゴリーシェアの維持・拡大により、安定成長を図っています。

主なブランド：ギャツビー・ルシード

男性グルーミング事業
売上高伸長率

11.1%増

国内 新ヘアスタイリング剤「ギャツビー ヘアジャム」シリーズ発売によってヘアスタイリング剤市場を活性化

2013年8月に発売した「ギャツビー ヘアジャム」シリーズの展開により、ヘアスタイリング剤使用者層だけでなく、未使用者への使用を促すなど、ヘアスタイリング剤市場を活性化させました。



「ギャツビー ヘアジャム」シリーズ

夏シーズン品の展開を強化

多様化する夏シーズン品の需要に対応し、「ギャツビー ボディウォーター」シリーズを発売するなどラインナップを充実させるとともに、商品の早期導入、多面展開を図るなど店頭展開を強化しました。



松田翔太さんと栗山千明さんを起用した「ギャツビー ボディペーパー」の新CM

また、「ギャツビー ボディペーパー」の新CMを投下し、年々需要が拡大しているボディペーパーのさらなる使用率向上を図りました。

「ミドル脂臭※」対策商品「ルシード デオドラント」シリーズを発売



田辺誠一さんと大塚寧々さんを起用

ミドル男性化粧品市場は、人口構成のボリューム上、今後の高い成長が期待できます。そのミドル男性化粧品市場に向けて、ミドル男性の高まる体臭ケア意識に対応した「ミドル脂臭」対策商品「ルシード デオドラント」シリーズを発売しました。田辺誠一さん、大塚寧々さんご夫妻を起用したCMの投下や店頭展開の強化により、「ミドル脂臭」の

認知拡大とケア意識の向上に取り組んでおります。

※ミドル脂臭：35～45歳の男性の後頭部・頭頂部・頸部（首の後ろ）を中心に発生する、アブラっぽい汗のニオイ。

海外 各国において「ギャツビー」の商品認知拡大のためのプロモーションを展開

展開各国において、それぞれの生活者に合わせたCMの投下や、プロモーションイベント、店頭展開強化など、「ギャツビー」の商品認知拡大に向けた取り組みを強化しました。



台湾の「ギャツビー ヘアジャム」キャンペーン



タイの「ギャツビー ムービングラバー」キャンペーン



女性コスメティック事業

女性コスメティック事業は、スキンケア事業を中核に、展開各国市場に適応した商品ラインナップによる展開の強化・育成を目指しています。

主なブランド：ビフェスタ・ピクシー

女性コスメティック事業
売上高伸長率

12.5%増

国内

「ビフェスタ 水クレンジング」シリーズの プロモーション展開を強化

好調に推移している「ビフェスタ 水クレンジング」シリーズにおいて、店頭展開を強化するとともに、ターゲットである社会人女性へのサンプリングを実施するなど、一層の認知拡大と使用率向上に取り組みました。



引き続き土屋アンナさんを起用し、プロモーション展開を強化

海外

「ピクシー スキンケア」シリーズから、 新製品を発売しラインナップを強化

インドネシアにおいて、「ピクシー スキンケア」シリーズから新製品を発売するなど、ラインナップを強化しました。また、メイクアップシリーズも、CM投下やプロモーションイベントを実施するなど展開を強化しました。



「ピクシー メイクアップ」シリーズにおいてCM投下

海外事業

海外事業は、グループ経営の成長エンジンとして、重点エリアでの積極展開により、成長性の向上を目指しています。

海外事業
売上高伸長率

22.7%増

前期レートを
換算比 8.3%増

展開各国において積極的なマーケティング投資を行ない、売上規模の拡大に向けて取り組みました。その結果、2014年3月期において、海外比率40.0%となりました。

連結売上高に占める海外比率



インド
ネシア

売上高2兆ルピアを達成

連結子会社であるPT Mandom Indonesia Tbkで売上高2兆ルピア(約180億円)を達成しました。競争激化や生活者ウォンツの変化に対応しながら、商品提案や新たな価値提案に取り組んでおります。

その他の
エリア

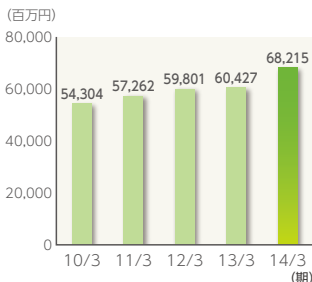
インド子会社の事業を一時休止

インド子会社であるMandom Corporation (India) Pvt. Ltd.の事業を一時休止することを決定しました。インド市場における化粧品販売は堅調であるものの、インドルピーの下落および現地生産体制の未整備などにより、為替リスクが増大したためです。今後はインド市場に対して、インドネシア子会社から直接現地代理店を通じた販売を行ないます。

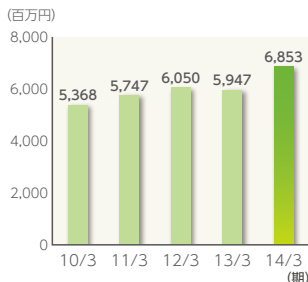
財務データ

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

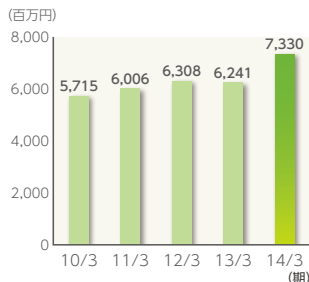
売上高



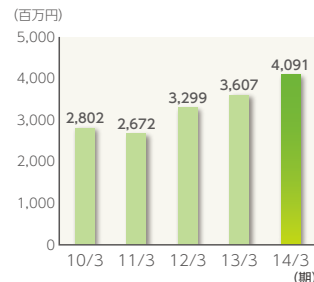
営業利益



経常利益

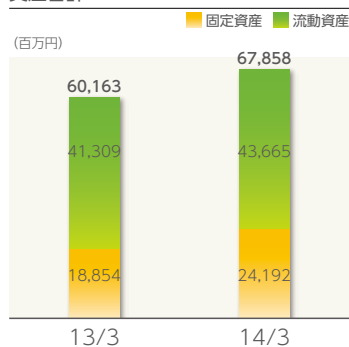


当期純利益

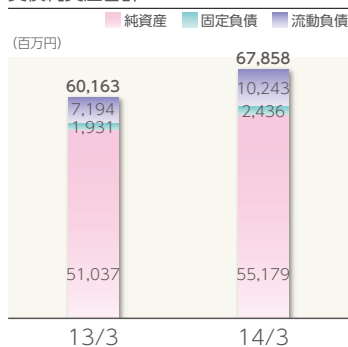


財政状態

資産合計



負債純資産合計



Point

資産 (+76億94百万円)

主に設備投資にともなう有形固定資産の増加が要因です。

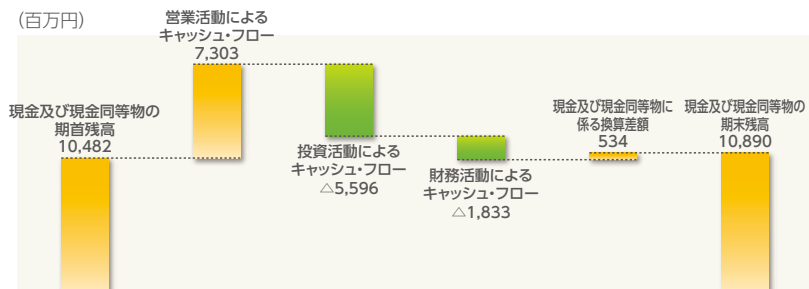
負債 (+35億52百万円)

主に設備投資にともなう未払金の増加が要因です。

純資産 (+41億41百万円)

主に利益剰余金の増加とその他の有価証券評価差額金の増加が要因です。

キャッシュ・フローの状況



Point

営業活動によるキャッシュ・フロー (+73億3百万円)

主に税金等調整前当期純利益と減価償却費が要因です。

投資活動によるキャッシュ・フロー (-55億96百万円)

主に有形固定資産の取得による支出が要因です。

財務活動によるキャッシュ・フロー (-18億33百万円)

主に配当金の支払いが要因です。

14/3

中期経営計画

▶▶ 新中期経営計画がスタートしました。(第11次中期3ヵ年経営計画:2014年4月1日～2017年3月31日)

■ 第11次中期3ヵ年経営計画 (MP-11) の概要

「アジアにおける成長加速と新規事業開拓の推進のための中期経営計画」

2014年4月からMP-11がスタートしました。

前中期経営計画である第10次中期3ヵ年経営計画 (MP-10) は、「アジアでグローバルな経営を強みとするオンリーワン・カンパニー」を目指し、グループ事業の成長加速に向けて取り組んでまいりました。その結果、女性コスメティック事業に計画の遅れが出たものの、男性グルーミング事業や海外事業は当初掲げた計画を上回って推移し、成長性、収益性、株主還元ともに目標を達成することができました。

近年、成長著しいアジア市場では、グローバル企業の台頭、商品トレンドの変化などにより、厳しい競争環境となっています。このような中で、アジアを中心に事業展開してきたマングムグループでは、競争力を高め成長を加速させるとともに、次の成長に向けた新たな事業領域づくりに取り組むことが必要です。

MP-11では、「アジアにおける成長加速と新規事業開拓の推進のための中期経営計画」と位置づけ、MP-10に引き続き「アジアでグローバルな経営を強みとするオンリーワン・カンパニー」を目指し、売上規模の拡大を目指します。具体的には、「コア事業である男性グルーミング事業の持続的な成長」「女性コスメティック事業の展開スピードのアップ」「成長エンジンである海外事業の継続強化」を戦略テーマとし、MP-10を超える成長性の実現、収益性の段階的な向上、安定的かつ高水準な株主還元の継続に向け取り組んでまいります。

■ 第10次中期3ヵ年経営計画 (MP-10) の結果

MP-10では、「グループ事業の成長を加速させるための中期経営計画」として位置づけ事業を展開してまいりました。「コア事業である男性グルーミング事業の安定成長」「女性コスメティック事業の展開強化」「アジアを成長エンジンとした海外事業の継続強化」に取り組み、当初掲げた目標を達成することができました。

MP-11概要

テーマ:「アジアにおける成長加速と新規事業開拓の推進」

成長性
<p>主力市場における事業展開の強化による競争優位性の確立、新たな市場・事業分野の開拓による売上規模の拡大を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア事業である男性グルーミング事業の持続的な成長 ・女性コスメティック事業の展開スピードのアップ ・成長エンジンである海外事業の継続強化 <p>最終年度目標: 連結売上高830億円</p>
収益性
<p>成長加速に向けてマーケティング投資を強化するとともに、収益性の段階的な向上を目指す。</p> <p>最終年度目標: 連結営業利益86億円</p>
株主還元
<p>安定的かつ高水準な株主還元の実施</p> <p>継続目標: 連結配当性向40%以上</p>

MP-10結果

	目 標	結 果
成長性	連結売上高660億円以上	682億円(達成)
収益性	連結営業利益率10%以上	10.0%(達成)
株主還元	連結配当性向40%以上	40.0%(達成)

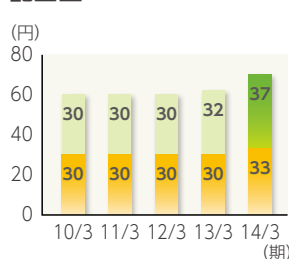
株主還元の基本方針

配当に関して

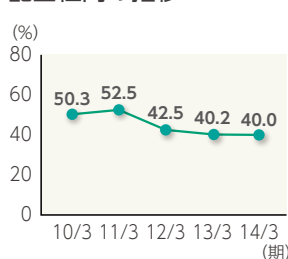
連結配当性向40%以上の継続

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要政策として位置づけ、内部留保に配慮しつつ、配当金による株主還元を優先的に実施することを基本方針としております。「連結配当性向40%以上」の継続的な実現を目標としております。

配当金



配当性向の推移



株主優待について

5,000円相当の当社商品詰め合わせをお届けします。

当社は、株主の皆さまへの利益還元の一環として、株主優待を行なっています。100株以上の株式をご所有(3月31日現在)の株主の皆さまに5,000円相当の当社商品詰め合わせを、6月初旬にお届けしています。優待商品は、新製品を中心に選定しております。

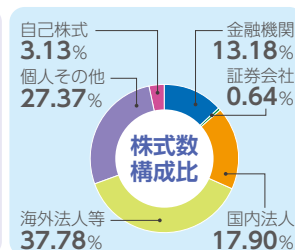
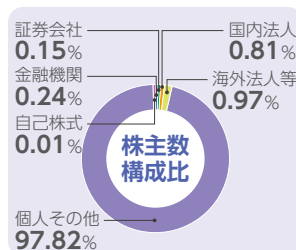


株式の状況

株式の状況

[2014年3月31日現在]

- 発行可能株式総数 81,969,700株
- 発行済株式総数 24,134,606株
- 株主数 16,343名
- 株式分布状況



大株主

[2014年3月31日現在]

氏名又は名称	所有株式数 (千株)	所有株式数の比率 (%)
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS	2,274	9.43
公益財団法人西村奨学財団	1,800	7.46
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	839	3.48
株式会社マンダム	755	3.13
西村 元延	720	2.98
マンダム従業員持株会	692	2.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	668	2.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	542	2.25
BNP PARIBAS SEC SVC LONDON/JAS/ABERDEEN INVESTMENT FUNDS ICVC/AGENCY LENDING	516	2.14
BNYM SA/NV FOR BNYM CLIENT ACCOUNT MPCC JAPAN	367	1.52

※所有株式数は千株未満で切り捨てています。

会社概要

会社概要

[2014年3月31日現在]

- 社名 株式会社マンダム
- 従業員 524名 (連結2,316名)
- 本社 大阪市中央区十二軒町5-12
- 事業内容 化粧品、香水の製造および販売、医薬部外品の製造および販売
- 設立 1927年12月23日
- 資本金 11,394,817,459円

役員および監査役

[2014年6月24日現在]

取締役

代表取締役 社長執行役員	西村 元延
代表取締役 副社長執行役員	桃田 雅好
取締役 専務執行役員	寺林 隆一
取締役 常務執行役員	北村 達芳
社外取締役	中島 賢
社外取締役	長尾 哲

監査役

常勤監査役	斉藤 嘉昭
社外監査役	津田 昌俊
社外監査役	辻村 幸宏

執行役員

常務執行役員	鈴木 博直
常務執行役員	小芝 信一郎
常務執行役員	有地 達也
執行役員	亀田 泰明
執行役員	越川 和則
執行役員	古林 典和
執行役員	日比 武志
執行役員	野仲 昇
執行役員	渡辺 浩一
執行役員	永井 眞也

グループ会社

[2014年3月31日現在]

国内	株式会社ピアセラボ	1
	株式会社エムビーエス	※1 2
海	PT Mandom Indonesia Tbk	インドネシア 3
	Mandom Corporation (Thailand) Ltd.	タイ 4
	Mandom Philippines Corporation	フィリピン 5
	Mandom (Malaysia) Sdn. Bhd.	マレーシア 6
	Mandom Corporation (Singapore) Pte. Ltd.	シンガポール 7
	Mandom Taiwan Corporation	台湾 8
外	Sunwa Marketing Co., Ltd.	中国(香港) ※2 9
	Mandom Korea Corporation	韓国 10
	Zhongshan City Rida Cosmetics Co., Ltd.	中国(中山) 11
	Mandom China Corporation	中国(上海) 12
	Mandom Corporation (India) Pvt. Ltd.	インド 13

※1 非連結子会社 ※2 持分法適用関連会社

■ グループ会社事業拠点



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
〔そのほか、必要があるときは、
あらかじめ公告して定めた日〕

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記の電話照会先にご連絡ください。

- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先 ☎ 0120-782-031
- ホームページアドレス <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<<http://www.mandom.co.jp/>>
ただし、事故その他のやむを得ない事由の場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 株主優待 毎年3月31日現在の100株以上ご所有の株主さまに対し、5,000円相当の当社商品を6月初旬に贈呈します。
- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

【特別口座について】

特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記の株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社の電話照会先にお問い合わせください。

株式会社マングム 広報IR室

〒540-8530 大阪市中央区十二軒町5番12号
TEL : 06-6767-5020 FAX : 06-6767-5043

株式会社マングムはISO14001(福岡工場)を認証取得しております。



「マングムIRメール配信サービス」 についてのお知らせ

「マングムIRメール配信サービス」は、当社の開示情報を中心としたIR情報・会社情報をメールにてタイムリーにお知らせするサービスです。当社のウェブサイトから会員登録によりご利用いただけます。

会員登録はこちらから

マングム IR情報 検索



「マングムコーポレートサイト」 リニューアルについてのお知らせ

2014年3月31日、「マングムコーポレートサイト」をリニューアルし、タブレット・スマートフォンにも対応したサイトに変更しました。



UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。